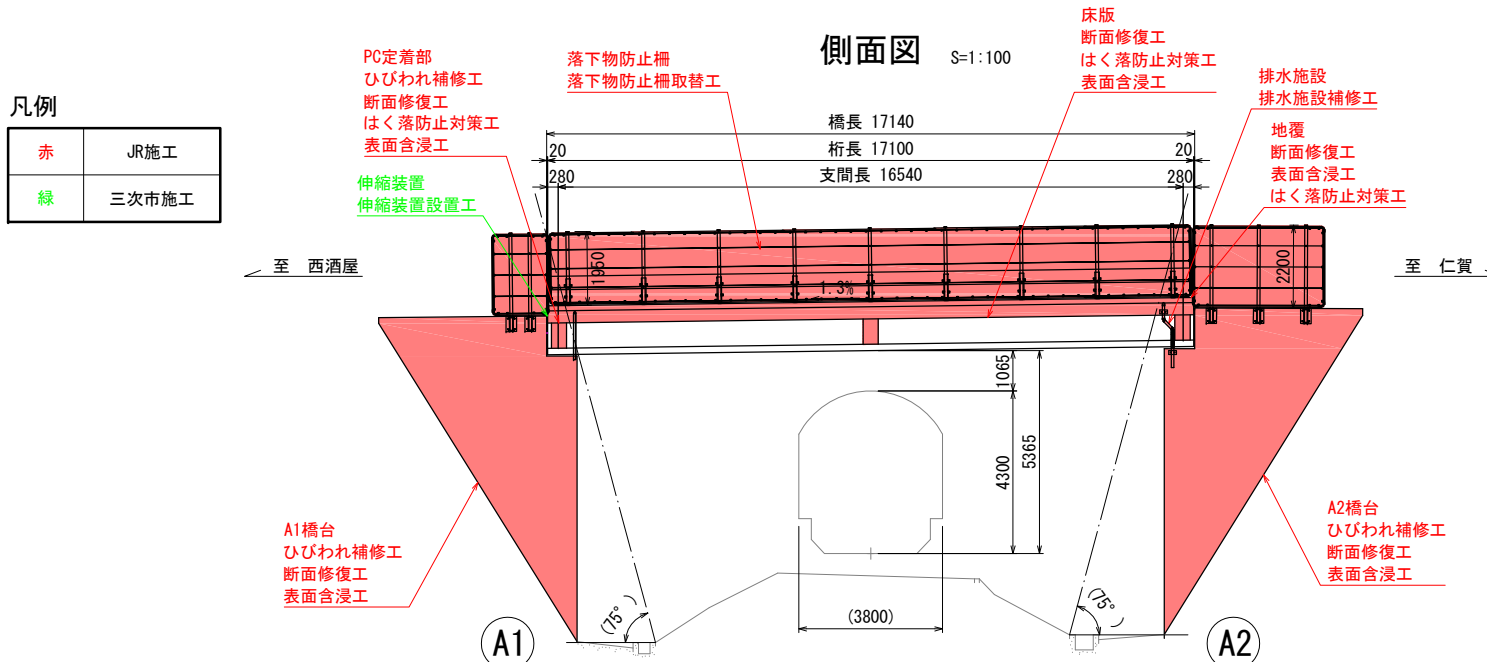
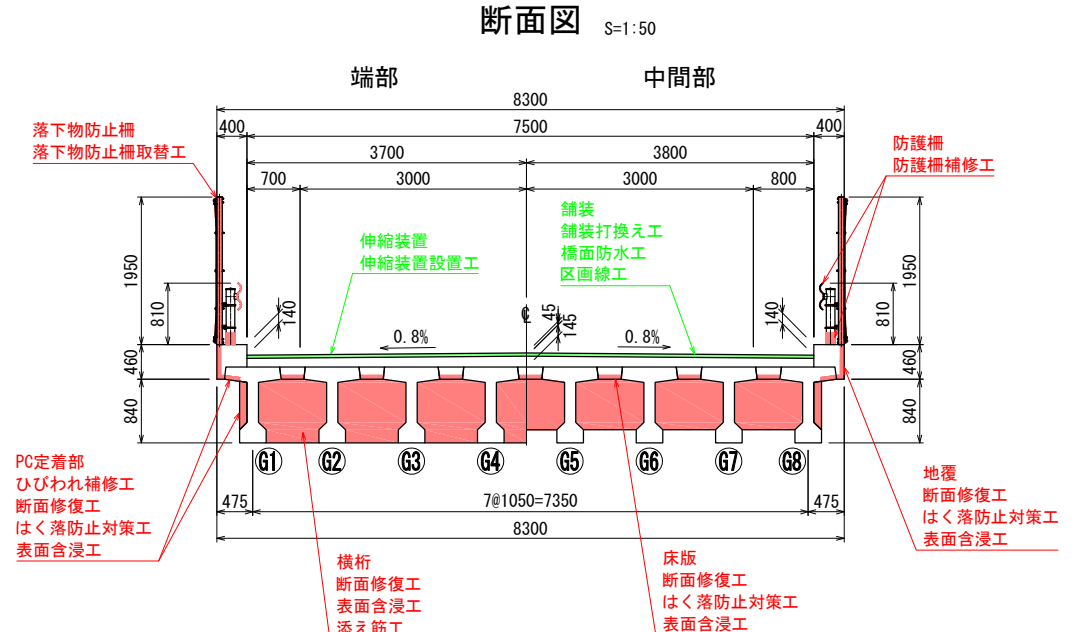
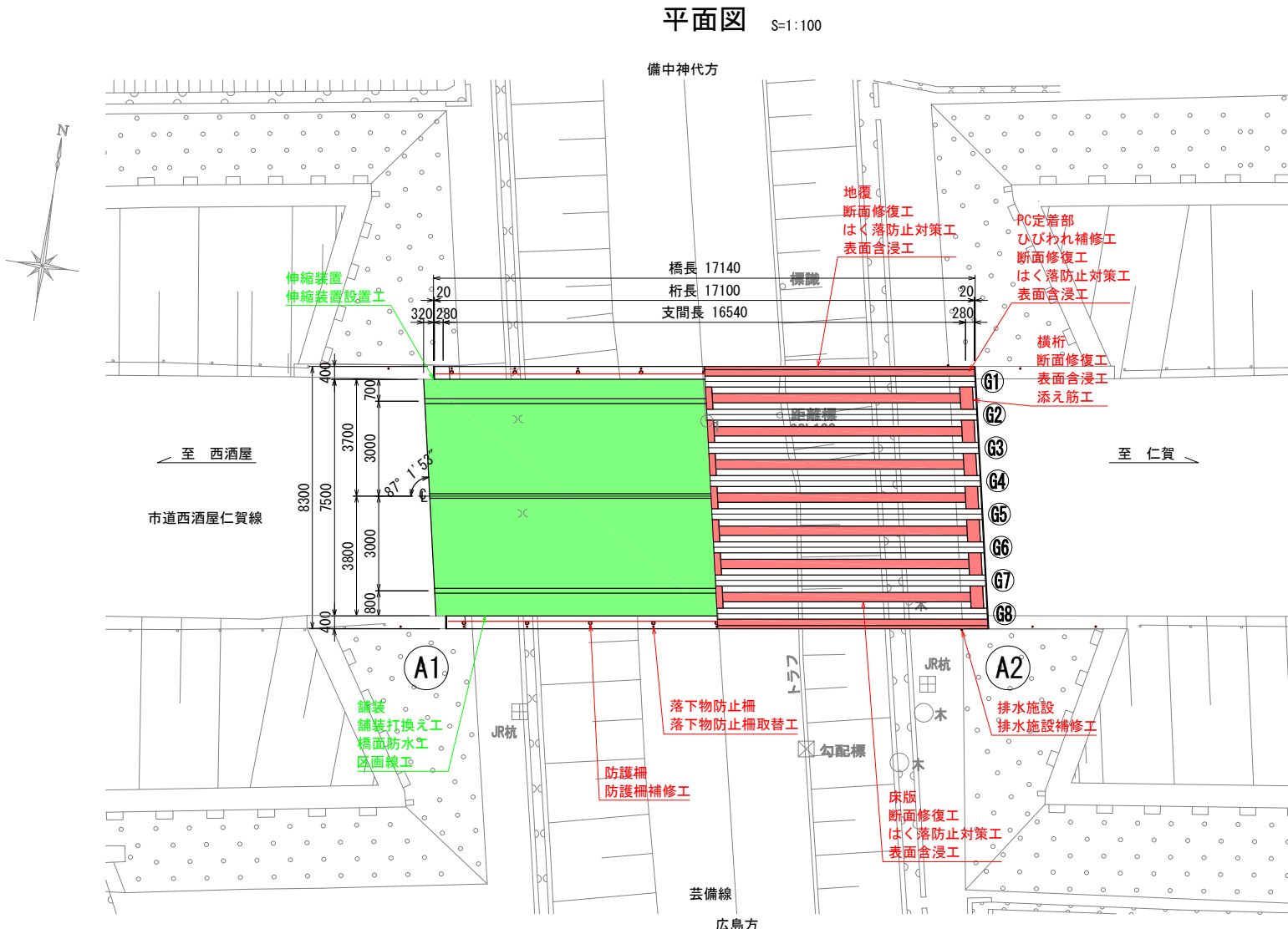


和田跨線橋 補修一般図



()書きは軌道直角方向を示す。



施工区分表

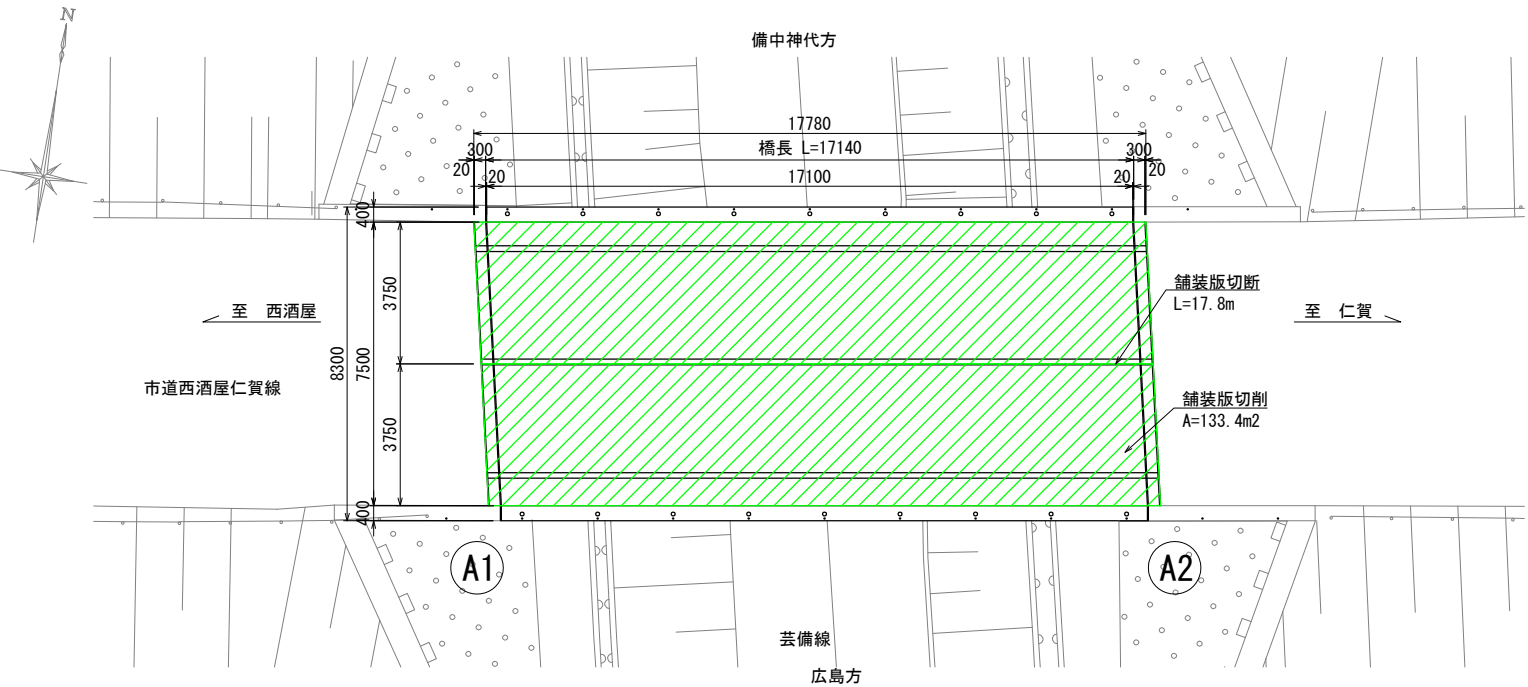
位 置	部 材	工 種	J R施工	三次市施工	備 考
上部工	横桁	断面修復工	○		
		表面含浸工	○		
		添え筋工	○		鉄筋破断箇所
	床版	断面修復工	○		
		はく落防止対策工	○		
		表面含浸工	○		
	PC定着部	ひびわれ補修工	○		
		断面修復工	○		
		はく落防止対策工	○		
		表面含浸工	○		
下部工	橋台	ひびわれ補修工	○		
		断面修復工	○		
		表面含浸工	○		
橋面工	落下物防止柵	落下物防止柵取替工	○		
	防護柵	防護柵補修工	○		
	地覆	断面修復工	○		
		表面含浸工	○		
		はく落防止対策工	○		
	舗装	舗装打換え工		○	
		橋面防水工		○	
		区画線工		○	
伸縮装置	伸縮装置設置工		○		
その他	排水施設	排水施設補修工	○		

工事名	橋梁整備設計業務委託（跨線橋等） 【和田跨線橋】		
図面名	和田跨線橋 補修一般図		
作成年月日	令和 5 年 11 月		
尺 度	図 示	図面番号	3/24
会社名	ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社		
事務所名	三 次 市		

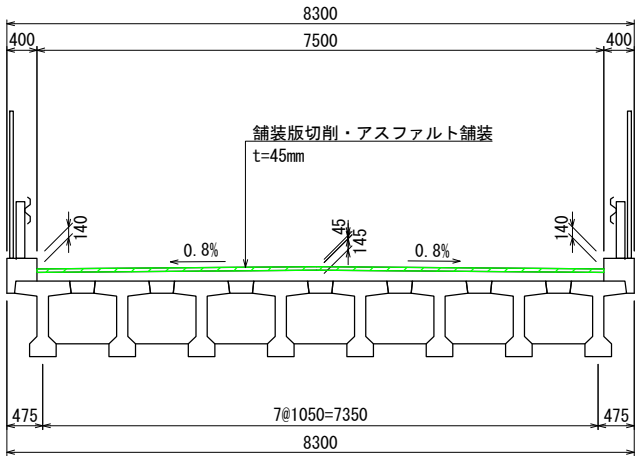
和田跨線橋 橋面補修図(1)

舗装打換え工・橋面防水工

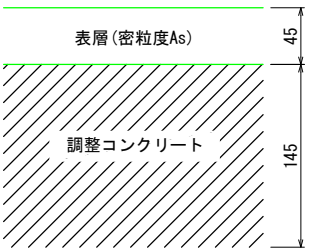
平面図(橋面) S=1:100



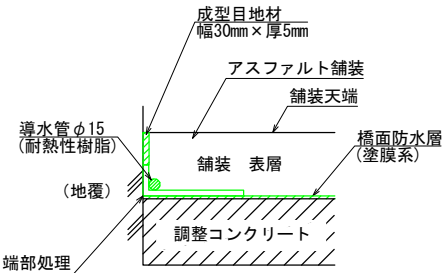
断面図 S=1:50



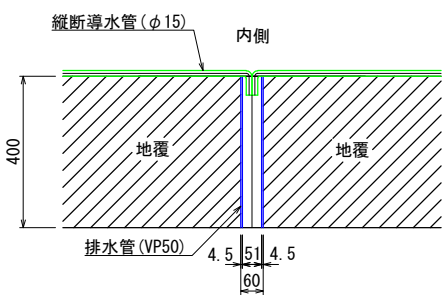
舗装構成図 S=1:3



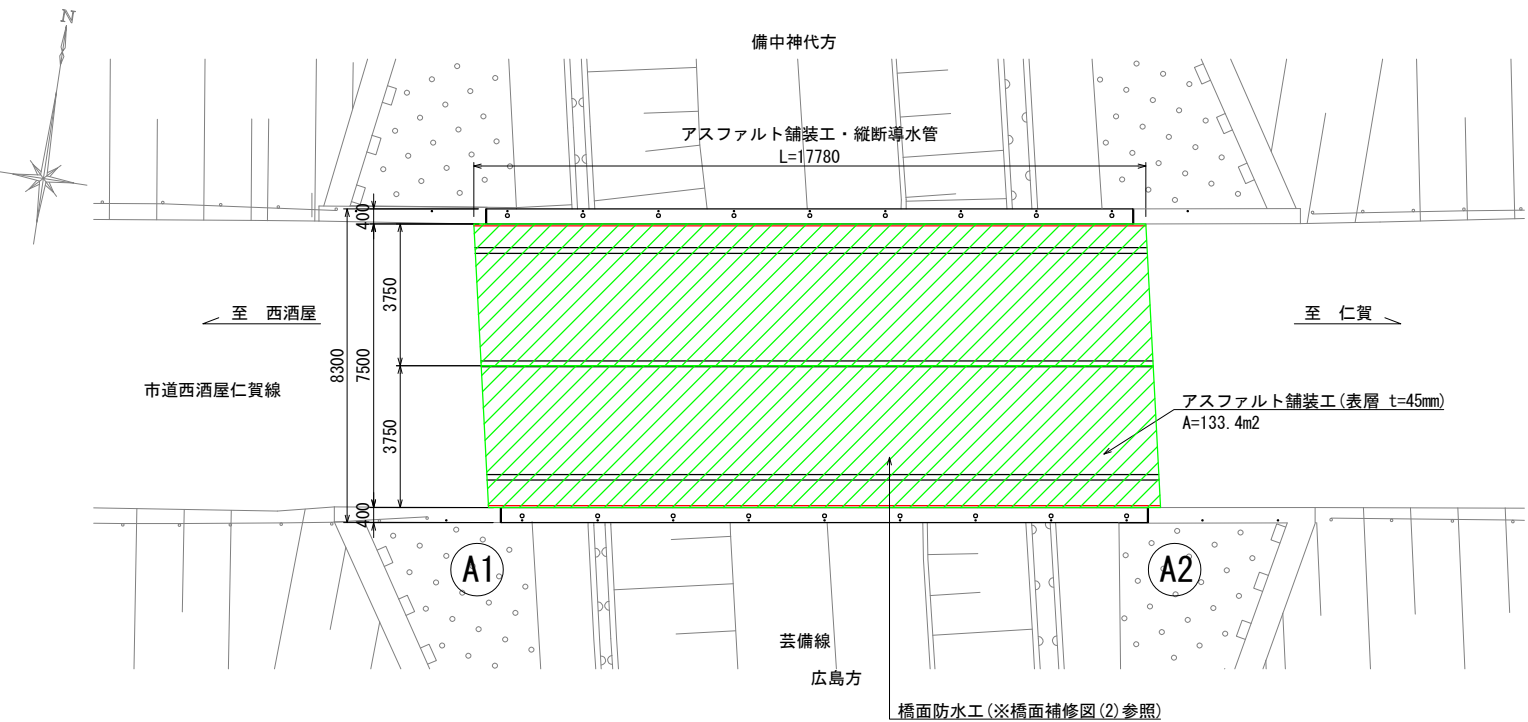
地覆境界部



排水管接続部詳細図 S=1:10



平面図(橋面) S=1:100



舗装打換え 数量表

名 称	規 格	単位	数 量	備 考
舗装版切斷	アスファルト舗装t=45mm	m	17.8	
舗装版切削	アスファルト舗装t=45mm	m2	133.4	
アスファルト舗装	密粒度As(13mm), t=45mm	m2	133.4	

橋面防水工 数量表

名 称	規 格	単位	数 量	備 考
橋面防水工	塗膜系	m2	—	橋面補修図(2)参照
導水管	耐熱性樹脂 φ15	m	35.6	
成型目地材	セロシールSSテープ同等品以上	m	35.6	幅30mm×厚5mm
端部処理	シルバーメッシュ同等品以上	m	35.6	

注記)

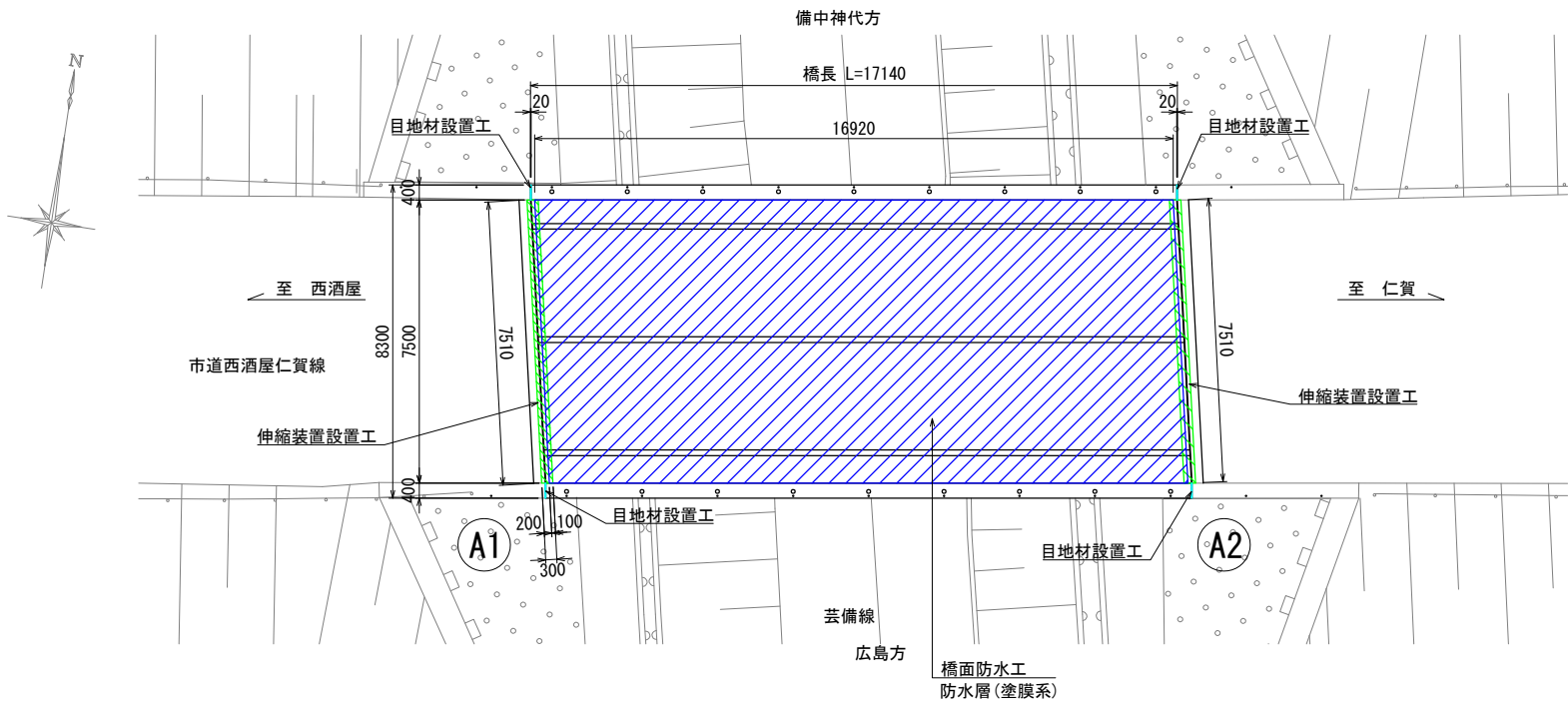
1. 施工に際しては、現況寸法及び変状について確認の上、行うこと。
2. 舗装撤去後、調整コンクリート・地覆等には健全全部が確認された場合は、監督員に報告・対応方針を確認し、補修を実施すること。

工事名	橋梁整備設計業務委託(跨線橋等) 【和田跨線橋】		
図面名	和田跨線橋 橋面補修図(1)		
作成年月日	令和 5 年 11 月		
尺 度	図 示	図面番号	17/24
会社名	ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社		
事務所名	三 次 市		

和田跨線橋 橋面補修図(2)

伸縮装置設置工・橋面防水工

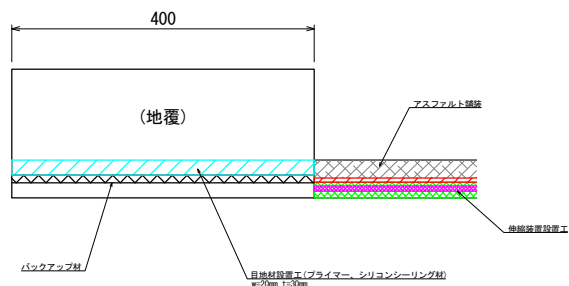
平面図(橋面) S=1:100



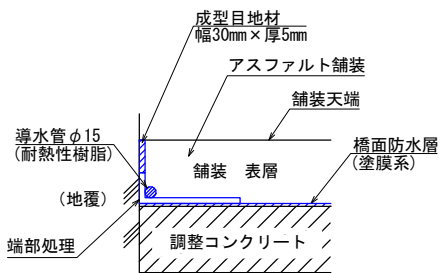
伸縮装置設置工・橋面防水工 数量表

記号	補修項目	単位	数量	備 考
	伸縮装置設置工	m	15.0	AOS工法相当品
	橋面防水工(塗膜系)	m2	126.9	
	目地材設置工	m	1.6	シリコンシーリング材(t=30mm)

地覆部目地材設置工詳細図 S=1:5



防水層端部処理詳細図



橋面防水工詳細図

防水材適用表	
種 類	適 応
常温型塗膜防水	可(推奨)
塗膜系床版防水材(アスファルト加熱型)	可
シート系防水	不可
塗膜系ゴム溶剤型	不可
塗膜系反応樹脂型	不可

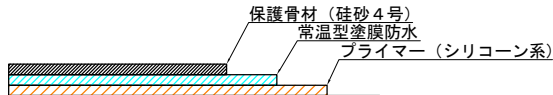
※上記に記載の無い防水材は適用不可。

橋面防水工材料表<補修>

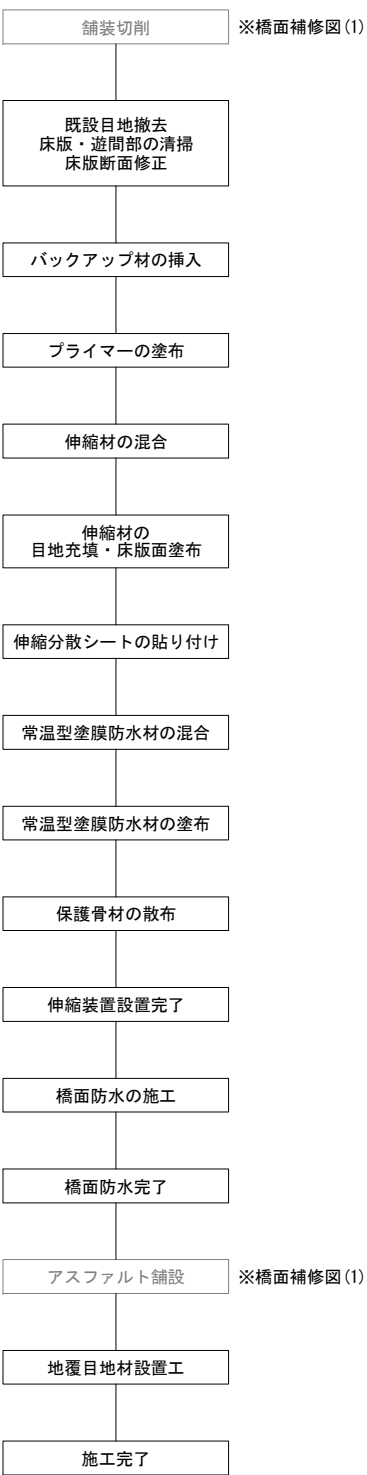
塗膜系床版防水材(アスファルト加熱型)		1m2当たり		
名 称	材 質	単 位	数 量	備 考
防水材	当該製品の仕様に従うこと			
プライマー				
保護骨材				

常温型塗膜防水材		1m2当たり		
名 称	材 質	単 位	数 量	備 考
常温型塗膜防水材	主 剤: ゴムアスファルト乳剤 硬化剤: ウレタン樹脂化合物	kg	1.50	α25%含む
プライマー	シリコン系化合物	kg	0.18	α20%含む
保護骨材	珪砂4号	kg	0.77	α10%含む

常温型塗膜防水層構成図

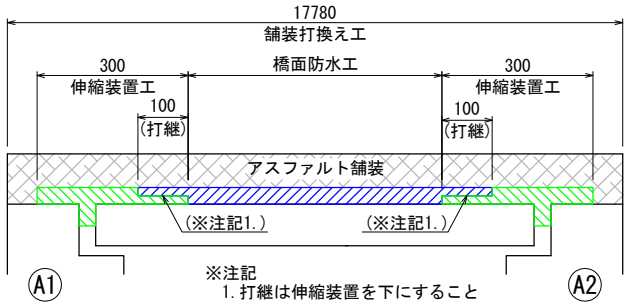


施工フロー図



伸縮装置及び床版防水の一体化工法詳細図

一体化構造図(側面図)



一体化構造図詳細

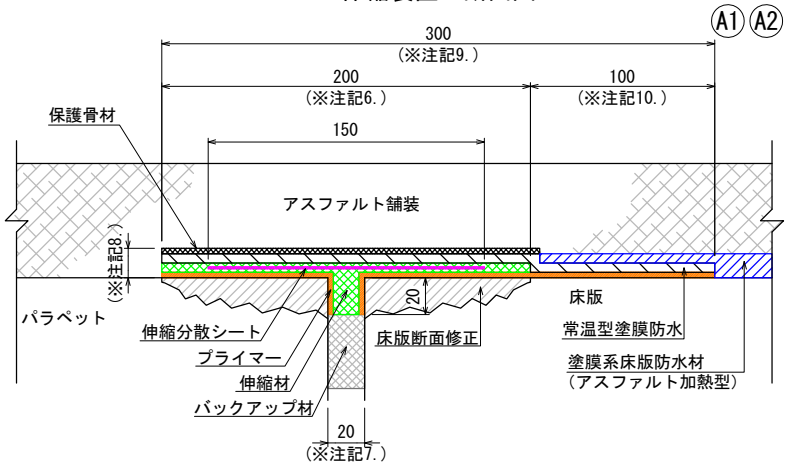
記号	名称	※ 注 記 ※
	伸縮装置設置工	伸縮材は常温型塗膜防水と一体化する同系材料。 伸縮装置工の範囲(W=300)は常温型塗膜防水材を使用すること。
	橋面防水工	橋面防水には、塗膜系床版防水材(アスファルト加熱型)或いは、常温型塗膜防水材のみ使用可能

伸縮装置工材料表 <補修>

名 称	材 質	単 位	数 量	備 考
伸縮材	主 剤: ゴムアスファルト乳剤 硬化剤: ウレタン樹脂化合物	kg	1.00	α25%含む
プライマー	シリコン系化合物	kg	0.058	α20%含む
伸縮分散シート	アスファルトメッシュシート	m	1.10	α10%含む
バックアップ材	汎用ウレタンフォーム	m	0.55	α10%含む
常温型塗膜防水材	主 剤: ゴムアスファルト乳剤 硬化剤: ウレタン樹脂化合物	kg	0.45	α25%含む
保護骨材	珪砂4号	kg	0.16	α10%含む

※伸縮材は常温型塗膜防水と一体化する同系材料。
※常温型塗膜防水材は伸縮装置と一体化する同系材料。
※バックアップ材は2m/本を適宜切断して4mの施工に使用する。

伸縮装置工断面図



※注記

- 伸縮装置工の数量は、調査結果を元に算出している。施工に際しては現場状況に合わせて適宜変更のこと。
- 伸縮性及び止水性を有する処理を目的とするため、伸縮性を確認できる材料を選定のこと。
下記に参考仕様を示す。

一体化	遊間部止水層が床版防水層と一体化した伸縮装置として機能すること	6000回
伸縮追従性	±4mm繰り返して剥離・破損がないこと	15回
- 伸縮剤は、現場条件への対応性が良好なことから、ウレタン系ゴムアスファルト乳剤を選定している。
- 伸縮剤との一体化のため、常温型塗膜防水の材料にはウレタン系ゴムアスファルト乳剤を必ず使用すること。
- 床版断面修正の適用範囲はw200、t=30mmまでとする。
- 設置面(W=200)の遊間両端のレベル差は0に不陸修正すること。
- 既設遊間幅が適用範囲外の場合は、適用範囲まで遊間幅を調整すること ※適用範囲: 20mm-10、+4mm
- 断面図の厚み(t)は視認性を優先し、正確な数値(t)を表さないことに注意すること。
- W=300に使用する防水材は、常温型塗膜系防水材を指定とする。
- 打継は伸縮装置を下にすること。
打継部の常温型塗膜防水の上面(打継面)は保護骨材およびプライマーは塗布しないこと。

工事名	橋梁整備設計業務委託(跨線橋等) 【和田跨線橋】		
図面名	和田跨線橋 橋面補修図(2)		
作成年月日	令和5年11月		
尺 度	図 示	図面番号	18/24
会社名	ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社		
事務所名	三 次 市		

S=1 : 50

平面図(橋面)



名 称	規 格	单 位	数 量	備 考
区画線工	白色、実線、W=15cm	m	35.6	外側線
	黄色、実線、W=15cm	m	17.8	道路中心線

工事名	橋梁整備設計業務委託（跨線橋等） 【和田跨線橋】		
図面名	和田跨線橋 橋面補修図 (3)		
作成年月日	令和 5 年 11 月		
尺 度	1 : 50	図面番号	19/24
会社名	ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社		
事務所名	三 次 市		